

事業名：病院連携を見据えた、ベトナム大都市主要4病院、フィジー共和国に対する、外科技術協力を含めた周術期管理

目標：NCGMとベトナム4病院、フィジーCWM病院が外科系連携病院となり病院間での系統のかつ継続的な治療を可能とする。

呼吸器外科

具体的な目標：画像から手術術式の選択をしっかりとできるようになる。内視鏡外科技術、ロボット外科手術の向上、さらに術後の、外来経過観察の方法について学んでもらい、腫瘍外科学全体について理解を深める。

食道外科

具体的な目標：食道切除術のいろいろな選択肢を学ぶ。適切な術後管理と合併症発生に対するマネージメントを理解する。さらに外来経過観察におけるポイントを共有する。
活動：手術の技術的な指導、術後管理、栄養管理、化学療法的重要性を共有する

大腸肛門外科

具体的な目標：(初期)大腸癌全般において腹腔鏡下に安全で確実な手術や管理ができるようになる。(最終)大腸癌、特に直腸癌において適切な前治療の選択と腹腔鏡やロボット手術を主体とした低侵襲手術を行えるようにする。
活動：ベトナムでの術前治療、腹腔鏡・ロボット手術を展開。

肝胆膵外科

具体的な目標：(初期)肝胆膵手術の適応、術式、術後管理、手技の理解。(当面)ベトナムでの手術、術後管理の再現。(最終)肝胆膵の手技手術を習得した上で、肝移植の手技術後管理の習得
活動：肝胆膵外科医手術派遣。肝移植施設(東大)と連携して、日本の肝胆膵外科の手技、管理を習得したベトナム人医師を移植施設に派遣

心臓血管外科

具体的な目標：心臓血管外科の安全な導入、指導。内視鏡外科手術、ステントなど、低侵襲外科手術の導入。

集中治療科・麻酔科

具体的な目標：上記外科手術後患者の人工呼吸管理に対するVAPバンドルの導入とスタッフの指導。

NCGM

一般・胸部外科の連携

専門家派遣

研修生受入

協議 支援

国際医療協力局

オリンパス；内視鏡システム
日立；超音波診断の活用
日本製内視鏡器具の導入

108軍中央病院

175軍中央病院

バックマイ病院

クアン・ニン

総合病院

CWM 病院(フィジー)

先方出費
も活用

展開推進
事業費等

事業名：病院連携を見据えた、ベトナム大都市主要4病院、フィジー共和国に対する、外科技術協力を含めた周術期管理

- 日本の外科・周術期治療を学びたいニーズが強く、政府含め、大病院から技術展開の依頼が多く寄せられている。
- NCGMと108, 175病院の呼吸器外科が、オンライン会議(カンファ)を行って、12月までに肺癌術後・補助化学療法・サーベイランスのプロトコルを作成。
- 先進国最高水準レベルである日本の外科医療を、周術期管理を含めた外科医療のレベル向上を目指し、NCGMが、ハノイ・バックマイ病院、108軍中央病院、ホーチミン・175軍病院、クアン・ニン省総合病院に対し、講義・手術指導・術後管理を含めた周術期管理を指導、3年後を目途に各種ガイドラインを作成する
- 中枢の病院に技術支援を行うことより、下位病院へ医療技術が伝わるため、ベトナムの外科手術並びに、周術期管理が向上することで、国全体の医療レベルの上昇が期待できる。

